

19.2.26

(安孫子)

## 「金融論」の採点結果

### 1. 経済学部 経済学科国際経済コース(2~4年次)の試験結果:有効受験者41名

うち90点以上	1名	よく頑張りましたね。最高は94点です。
80点~89点	6名	気を抜かずに、これからも金融を勉強しましょう。
70点~79点	10名	金融の奥を理解するには、もうひと踏ん張りが必要です。
60点~69点	22名	可くらいで安心しては卒業後に苦労しますよ。今後も新聞や教科書などをよく読んで、金融の知識を深めましょう。
-----		
59点以下	2名	最低は50点です。このほか、出席不足の <b>不受</b> (有効受験者にはカウントしていません)が <b>3名</b> います。

**平均69.6点, 合格率95.1%(優17%+良24%+可54%)**

分母は有効受験者

個人の点数を知りたい人は、原則として**メールで時間を約束してから研究室に来て下さい**。研究室にいないことも多いほか、在室のときでも約束なしに突然来られては困ります(アポなしの人は長居しないで下さい)。

(全体の印象)

合格率が有効受験者の95%と昨年(83%)よりは大幅に向上しています。昨年とは異なり、「私語禁止」のルールを守ってくれた人が殆どだったことも整合的です。また、採点の中で半分のウェイトを持つ中間テスト段階では合格ラインの30点を越えた人が82%に過ぎなかったのも、後期に点数を上げた人が少なくないようです。後期に大幅に点数を上げた人などは、その努力を大いに賞賛します。おめでとう。

ただ、本気で金融論を勉強している人とそうでない人(手を抜いている?)の二極分化が大きいのが実情です。皆さんの人生にとって、要領よく立ち回って合格ラインに滑り込むことだけが目的ではないでしょう。残念ながら「金融論」という分野にはさほど興味がなかったのかも知れませんが、社会に出ると金融論の知識は、お金を貸す側だけでなく、借りる側にとっても不可欠な時代になっています。卒業した後で「しまった!こうなると分かっていたら、学生時代に勉強しておいたのに」と思うのではなく、学生のうちにきちんと理解しておくことをお勧めします。

以上